

## 第2章-5. 中国の思想

### 1. 儒家思想

中国には、紀元前1500年ころにまでさかのぼるとされる文字記録が残されており、その中に、家族・血縁集団の道徳や、道徳に基づく政治に関する伝承が含まれている。春秋戦国時代の孔子は、儒教思想をゼロから作り上げたのではない。むしろ孔子は、時代の変わり目において、こうした伝統的道徳を守ろうとした人であった。

◎ \_\_\_\_\_ (551 ~ 479.BC) …… 言行録『 \_\_\_\_\_ 』(弟子たちとの問答を記す)

周代の文化的な秩序のしくみ (= \_\_\_\_\_) の復活をめざす

「 \_\_\_\_\_ 」 …… 根本道徳  
 親子の愛 ( \_\_\_\_\_ )、兄弟の愛 ( \_\_\_\_\_ ) などの家族道徳を基本とする、人を愛し、他人の身になって考える思いやりの心。  
 「 \_\_\_\_\_ 」 …… 自分を欺かないこと (口と心の一致)。  
 「 \_\_\_\_\_ 」 …… 自分が願うことを他人に及ぼすこと。(心の如し)  
 「 \_\_\_\_\_ 」 …… 「仁」の実践される形式 = 社会的な儀礼  
 自分の欲望 (己) に打ち勝ち、礼にしたがう = \_\_\_\_\_

仁を実践する人 = \_\_\_\_\_ (その中でも最高的人格者 = \_\_\_\_\_)

⇔ うわべだけで、誠意のない人 = \_\_\_\_\_

※ 「論語」の有名な文句

「学<sup>すなは</sup>びて思<sup>くら</sup>はざれば則<sup>ち</sup> 罔<sup>あやふ</sup>し。 …… 知識を学んだだけで自分でかんがえないのは愚かである。思<sup>すなは</sup>ひて学<sup>あやふ</sup>ばざれば則<sup>ち</sup> 殆<sup>あやふ</sup>し。 …… 知識がないまま自分勝手に考えるのは危険である。」  
 「学<sup>すなは</sup>びて時にこれを習<sup>あやふ</sup>ふ。またよろこばしからずや。朋の遠方より来るあり、また楽しからずや。人知らずして、慍 (うら) みず。また君子ならずや。」

学問の楽しさは、先生から習ったことを時々復習してみたり、同好の友人と語り合ったりして、新しい発見があることだ。また学問をするのは、他人に認められようとしてではない、という気持ちを持つ人が君子なのだ。

「故きを温めて新しきを知る。もって師たるべし。」

過去の伝統的知識の中から、現代にも通ずる新しい意味を知る。

それができるのが「先生」と呼ばれる人だ。

「これを知るは知るとなし、知らざれば知らずとなす。これ知るなり。」  
 (≡ソクラテス「無知の知」)

「君子は和して同ぜず。小人は同じて和せず」 (同≡大衆、和≡公衆)

「己の欲せざる所は人に施すなかれ」 (=キリスト教の黄金律、→J.S.ミル)

◎ \_\_\_\_\_ (372 ~ 289.BC)  
 「仁」に「 \_\_\_\_\_ 」を加え「仁義」を説く。(仁=愛、義=誠)

各国君主に、仁義による政治 ( \_\_\_\_\_ ) を説く = 徳治主義  
 ⇔ 武力で抑圧する政治 ( \_\_\_\_\_ ) を批判

↓

▶ \_\_\_\_\_ …… 民衆を苦しめる暴君は倒され、別な王に代わられて当然 (王家の姓が変わること)

▶ \_\_\_\_\_ …… 人はみな生まれながらに「仁のもと」を持っている  
 『孟子』(孟子の言行・問答を編集した書)「公孫丑章句上」より

孟子曰く、人皆、人に忍びざるの心有り。 …… (中略)  
 是によりて之を見れば惻隱の心無きは人に非ざるなり。 …… (中略)  
 惻隱の心は仁の端なり。羞惡の心は義の端なり。  
 辞讓の心は礼の端なり。是非の心は智の端なり。  
 人のこの四端有るや、なおその四体有るがごときなり。

\_\_\_\_\_ …… \_\_\_\_\_  
 ↓ ↓ ↓ ↓  
 \_\_\_\_\_ …… \_\_\_\_\_

四徳が身体に満ちあふれた状態 = \_\_\_\_\_  
 →そのような状態の人を \_\_\_\_\_ という

※五倫 …… 父子の親、君臣の義、夫婦の別、長幼の序、朋友の信

※五常 …… 仁・義・礼・智・信 (漢代に \_\_\_\_\_ が四徳に信を加えた)

◎ \_\_\_\_\_ (298 ~ 235.BC)  
 ▶ \_\_\_\_\_ …… 「人の性は悪なり。その善なるは偽なり」  
 生まれながらの善人はいない。

人は、生まれたあとに「礼」を修得し善人になる (礼治主義)。

※結局、生後の教育が大切という点では孟子も荀子も同じ。

しかし、荀子の弟子は、儒家から離れ、 \_\_\_\_\_ に分類される

<法家>

↓

◎ \_\_\_\_\_ (? ~ 233.BC) …… 法治主義  
 「法こそが王道政治の根本であり、刑こそは (王の民に対する) 愛のはじめである。」  
 秦王政 (始皇帝) に仕えるが、同門の李斯の讒言で獄死

## 2. その後の儒教史

- ◆ 前漢……董仲舒により国教となる  
修身・齐家・治国・平天下  
政治の実態は法治主義 ⇔ タテマエとしての徳治主義  
正しいテキストの理解を図る「訓詁学」が後漢期にかけてさかんに
  - ◆ 魏晉南北朝……道教・仏教におされて衰退
  - ◆ 唐……科挙の試験科目になる→再び「訓詁学」がさかんに 孔穎達「五経正義」
  - ◆ 宋……北方異民族に国を脅かされる中で、中国人としての思想に目覚める。  
仏教（禅宗）の影響で、自然と人間の本性の関係について考察 = 宋学
- ◎ \_\_\_\_\_ (1130 ~ 1200) …… \_\_\_\_\_ を大成する。  
「五経」(詩経・書経・易経・春秋・礼記、=古典) よりも  
「四書」(大学・中庸・論語・孟子、=思想書) を重視
- ①. 政治思想として
- ・ 大義名分論 (君臣の義)
  - ・ 華夷の別 (中華思想、周辺異民族の蔑視、尊王攘夷)
- ②. インド思想的な自然観と人間観が導入される。(性理学)
- ▶ \_\_\_\_\_ ……天の「理」と、人の「性」は一体のものである。
  - ▶ \_\_\_\_\_ ……心の中では「気 (=欲望)」が「性」を圧迫している。  
→ よって、「性」を鍛えて気を制御する必要がある。
    - ▶ \_\_\_\_\_ ……雑念を払って欲望を制御する (=持敬)
    - ▶ \_\_\_\_\_ ……勉強によって真理を究める (= \_\_\_\_\_ )  
→ 主知主義 (学問重視) = 科挙制度の理論的裏付け  
↓  
宋の陸九淵  
↓
- ◆ 明
- ◎ \_\_\_\_\_ (1472 ~ 1528) …… \_\_\_\_\_ を大成
- ▶ \_\_\_\_\_ ……心のあり方全体が「理」と一体である (理一元論)  
「心が善か悪か」という議論自体が性善説を否定するもの、と批判。
  - ▶ \_\_\_\_\_ ……先天的な道德知 ( \_\_\_\_\_ ) の実践を重視  
= \_\_\_\_\_ (知と行動の一貫性)

## 3. その他の諸子百家

実際に、団体を組織して活動していたのは儒家と墨家のみ

### <道家>

- ◎ \_\_\_\_\_ (生没年不詳)
- ▶ \_\_\_\_\_ (タオ) ……人智の計らいを超えた絶対的宇宙の原理  
儒家を批判……「大道廢れて仁義あり。智慧出でて大偽あり。  
六親和せずして孝慈あり。国家昏乱して忠臣あり。」
  - ▶ \_\_\_\_\_ ……あるがままに生きよ  
政治も「無為」。そのためには「 \_\_\_\_\_ 」(小さな自給自足の共同体)
  - ▶ \_\_\_\_\_ ……柔弱に他者と争わずに生きる
  - ▶ 上善如水……「道」に近いものは「水」  
万物に利益を与え、争わずに自然に従い流れる
- ◎ \_\_\_\_\_ (BC.4c.)
- ▶ \_\_\_\_\_ ……全ての生物はありのままに生活している、という点で同じ
  - ▶ \_\_\_\_\_ ……そのように生きる理想的な人間  
逍遙遊 (俗世間から離れて暮らす)、心齋・坐忘 (心を無にして道と一体化)

→ 南北朝時代に民間信仰と融合し「道教」が成立 (寇謙之による)

### <墨家> …… \_\_\_\_\_ (480-390.BC)

兼愛 (無差別の愛 ⇔ 仁は差別に基づく愛)、節葬 (簡素な葬式 ⇔ 礼楽を批判)  
交利 (利の相互付与)、非攻 (侵略戦争否定)  
墨家集団は、優れた防御技術を備えた部隊として小国の防御にあたった。

### <陰陽家> ……陰陽五行説

万物は、5つの基本元素 = 五行 (木火土金水) とプラス・マイナス (陰陽) によって成り立っている。 → 古代ギリシアの自然哲学に匹敵  
⇔ しかし、呪術的な方向へ向かい、自然科学には発展せず  
※風水とも関連……方位の吉凶判断、青龍(東)、朱雀(南)、白虎(西)、玄武(北)

### <兵家> ……孫武 (孫子、BC.500 頃)

「彼を知り己を知らば百戦殆 <sup>あやふ</sup> ならず」「戦わずして勝つのが上策」など  
兵法のみにとどまらない合理的的人生哲学

### <名家> ……公孫竜

「白馬は馬にあらず」で有名、詭弁的。  
しかし本来は、「言葉 (名)」と「実体」の関係を正確に分析するもの。(→ソシュール)